

高知くらしの護身術

425

クレジットカード

情報管理に注意を

(2017年4月4日掲載原稿)

クレジットカードは、商品やサービスの代金を後払いすることができるため、現金の持ち合わせがないときや急な出費がある時に便利ですが、取り扱いや管理に注意が必要です。

クレジットカードには、会員規約でカードや暗証番号の善管注意義務（一般的・客観的に要求される程度の注意を払って管理すること）が課せられています。多くのカードには、紛失や盗難による損害を補填する制度がありますが、他人にカードを貸した場合や、カードの管理を怠り他人に利用された場合は、利用分の負担を求められます。「家族が勝手にカードを使用してしまった場合、料金を支払わなくてはならないのか」という相談がよく寄せられますが、この場合、基本的には補償の対象外となります。なぜなら、カードを適切に管理していなかったとみなされる可能性が高いからです。

ICチップを搭載したカードでは、ショッピングの際、サインの代わりに端末に暗証番号を打ち込みますが、これはサインと同様に契約内容の確認と本人確認の意味を持ちます。非常に重要なものですので、類推されやすい生年月日や電話番号などの番号は避けましょう。

また、インターネットショッピングでクレジットカードを利用するために登録したパスワードも同様です。ネットでの情報管理は極めて重要ですので、ネットショッピングを利用した後は、パスワードやカード番号などの情報をサイト上に残すことがないように、必ずログアウトする習慣を身につけ、IDやパスワードの使い回しはやめましょう。

大学進学や就職をきっかけにクレジットカードを持つ方も多いと思いますが、暗証番号やパスワードをきちんと管理できる枚数以上は契約しないようにしましょう。